

「IMFが新型肺炎で景気が悪くなるから増税すべきと提言  
していますが？」

令和2年2月19日

●ディフェンシブ男爵さんからの質問

2月10日、IMFが日本に対して消費税増税を提言しました。一言で言う  
と「新型肺炎で景気が悪くなるから増税すべき」という内容の提言です。  
IMFは馬鹿なのでしょうか???増税すれば益々、景気が悪化することは  
今時、中学生でも分かります。中学生以下のIMFをズバッと斬って下  
さい!!!

●西田昌司の答え

IMFには財務官僚が出向していますが、その彼らがこのようなことを言  
い触らしているのでしょうか、真偽のほどはわかりませんが、今回のIMF  
の提言は馬鹿としか言いようがない、と私も思います。

今朝（2月17日）の朝8時50分のニュースで「2019年10-12月の実質  
GDPが年率換算で6.3%減」とのテロップが表示されました。この時期は  
新型コロナウイルスの影響は関係ありませんし、まさに消費税を10%に引  
き上げたことによる影響です。

私は消費税の引き上げに断固として反対してきました。安倍総理にも直談  
しましたし、自民党の役員会においても発言しましたが、残念ながら聞き  
入れられず、その結果が今の惨憺たる経済状況です。

本日、私は衆議院の国会対策委員会に顔を出しましたが、主要メンバーの  
先生方もGDPの大幅な下落に驚きを禁じえない様子でしたし、自民党にも

流石に衝撃が走っているようです。そして、これからさらにコロナショックが襲ってくるのです。

今、予算委員会が開催されていますが、大型の本予算のみならず補正予算もしっかりと組まないと大変なことになりますし、消費税率を5%に戻す等の思い切った対策を講じないことには日本経済はもちません。アベノミクスによって持ち直した日本経済ですが、このままでは水泡に帰することになりかねませんし、日本はまさに令和恐慌に突入するかどうかの瀬戸際に直面しています。

「景気が悪い」とはすなわち「世の中で使われるおカネが少ない」ということです。新型コロナウイルスによってまさしく景気が悪くなっていますが、そのような時に消費税を引き上げて世の中で使われているおカネをより回収したら、ますます景気が悪くなるに決まっています。どのような発想をしたら今回のIMFのような提言が出てくるのか、全く理解できません。

「政府が黒字」とは「政府が徴税等によって得られた収入の範囲内に支出を抑える」ことですし、「政府が赤字」とは「政府が徴税等によって得られた収入以上に支出する」ことです。「政府が赤字」というと聞こえは悪いですが、視点を変えると「国民が黒字」なのですし、すなわち国民の預貯金が増えることを意味します。政府の赤字のお陰で国民は実は豊かになっているのです。

財務省やIMFは財政破綻の不安を煽って財政再建の必要性を声高に叫びますが、財政再建とは（政府の赤字を避けるために）国民を富ませずに国民を不幸にする発想です。日本は財政破綻したこともありませんし、ハイパーインフレも経験していません。財務省やIMFは戦後日本の経済史をもっと勉強すべきです。

大東亜戦争で敗戦した日本は供給力が圧倒的に不足していましたが、それでも1年で6倍程度の物価上昇（1946年の東京小売物価指数）に留まって

います。工場が破壊されてモノが生産できず、外国からの輸入もままならぬところに外地から 500 万人が戻ってきたので当然ながらインフレにはなりましたが、それでもハイパーインフレ（1 年で 130 倍の物価上昇）には至りませんでした。

そのような状況でしたから、生産力を上げることを一番に考えなければなりませんでした。しかし、そのような時になんと財産税が課税されて国民からおカネを取り上げて国債残高をゼロにしました。要するに国民から財産を取り上げたのですが、そんなことをしたら生産力を増強できるはずがありません。

昭和 22 年に施行された『財政法』には「国の歳出は、公債又は借入金以外の歳入を以て、その財源としなければならない」とありますし、赤字国債を原則禁止しています。また、昭和 24 年にドッジ・ラインと呼ばれる財政金融引き締め政策が実施されました。民間企業はおカネを借りたくても借りれずに、トヨタ自動車もすんでのことで倒産するところでした。このような状況であった日本がなぜその後に奇跡的な経済成長を遂げたかという点、昭和 25 年に勃発した朝鮮戦争で GHQ の占領政策が 180 度転換したからです。

敗戦後、GHQ は日本が再び牙を剥かないよう、「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない」と謳った現行憲法を与えましたが、朝鮮戦争が勃発してからは、日本を反共の砦とするために日本におカネを援助して経済力を付けさせて、自衛隊という事実上の軍隊を持たせました。敗戦直後から朝鮮戦争勃発の間に GHQ が日本に押し付けた政策は、日本の徹底的な貧困化を目的としていましたが、朝鮮戦争を境にがらりと変わったために結果的に日本は戦後の繁栄を謳歌できたのです。

財務省や IMF は敗戦直後の緊縮財政路線をいまだに引きずっていて、日本を弱体化させるのが目的なのか、と勘ぐりたくもなりますが、彼らには戦後日本の歴史を直視していただきたく思います。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>